

平成29年度 第1回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) 事業運営懇話会

1

地域を知る
互いを知る

未来の
イメージ
共有

新たな
活動の創出

平成29年 7月11日

UDCBK

全体の流れ

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）について

3

（報告）平成28年度活動実績について

5

（報告）平成29年度活動計画（決定分）について

13

（報告）新拠点移転について

25

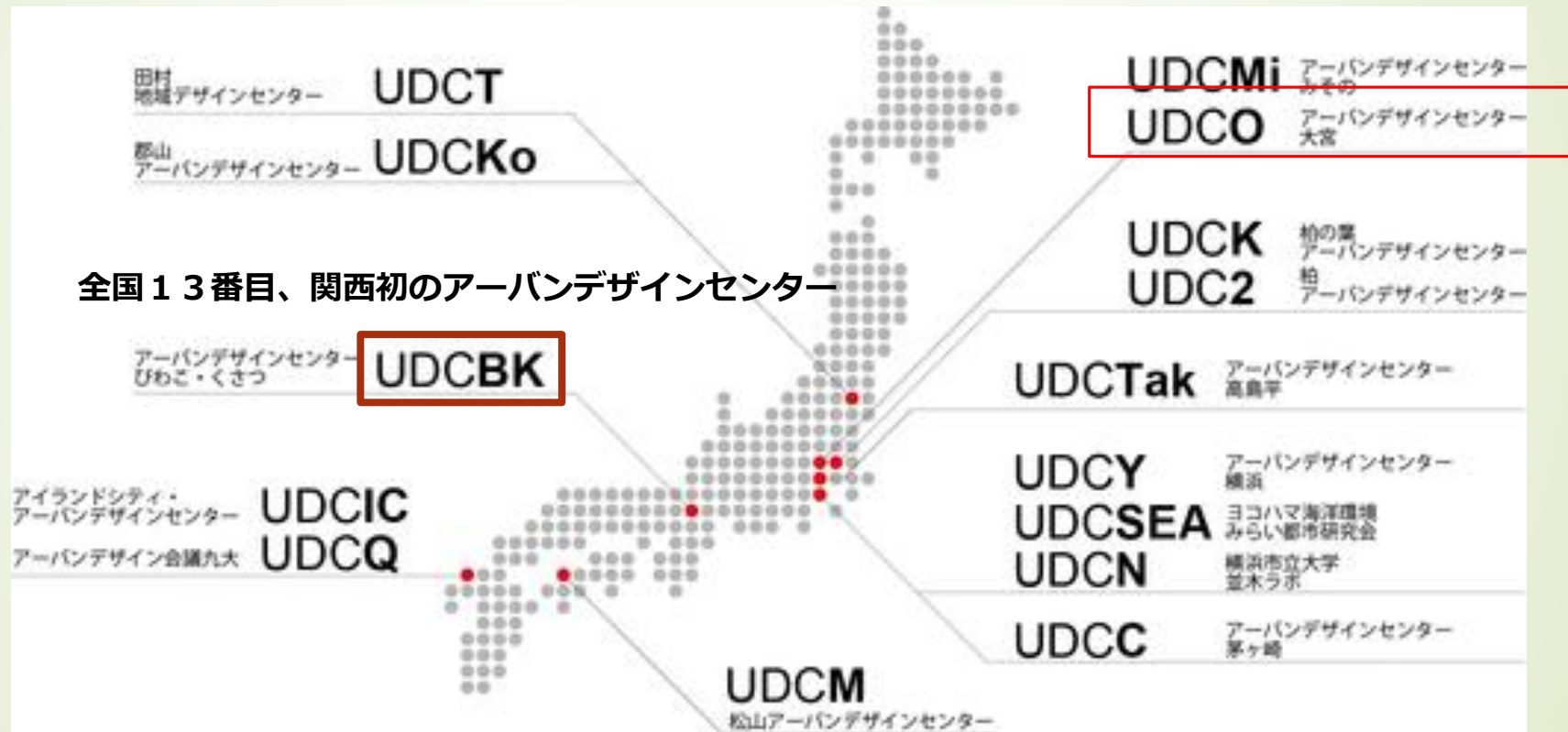
（協議）平成29年度活動計画（未決定部分）について

33

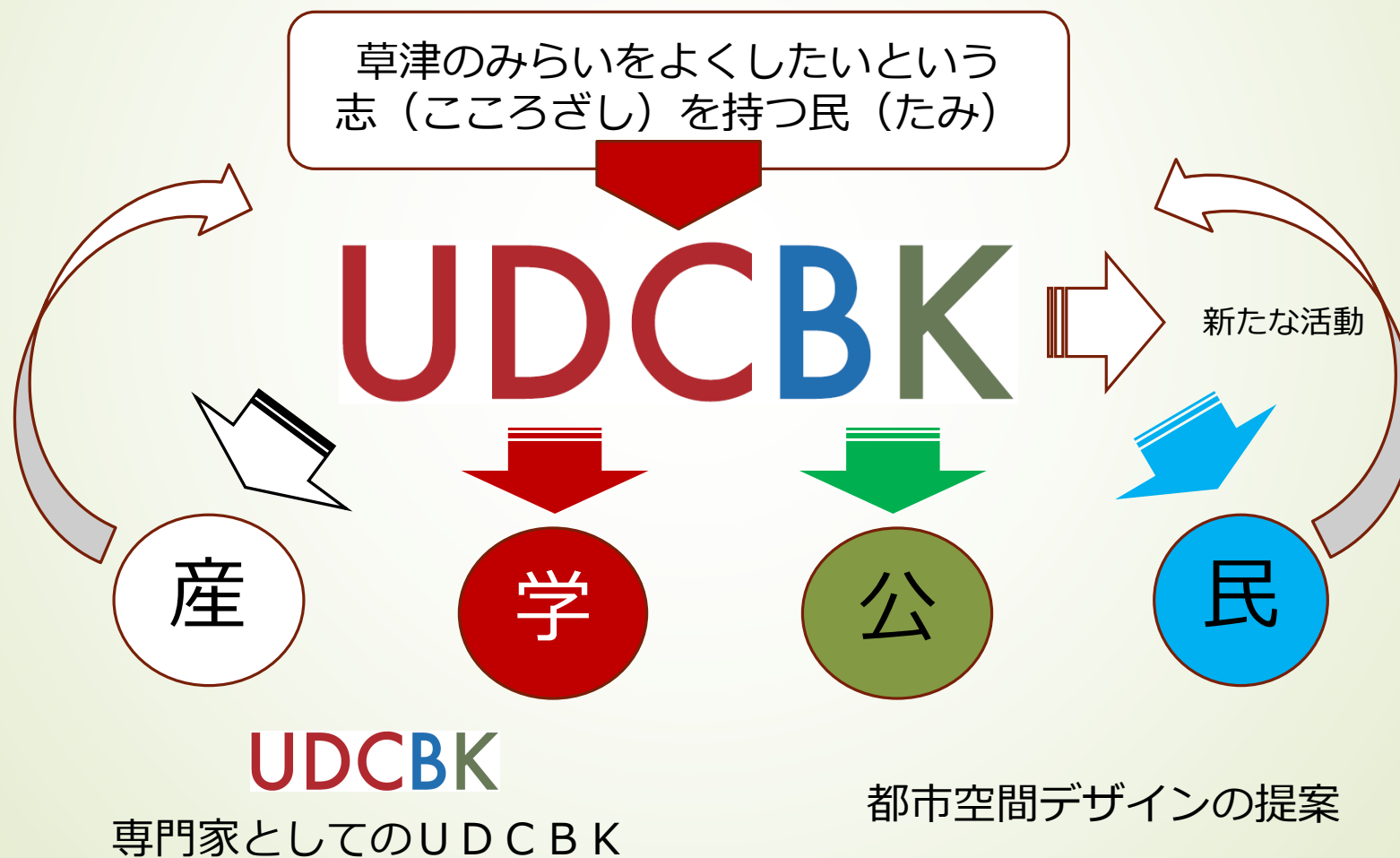
全国15のUDC一覧

3

全国13番目、関西初のアーバンデザインセンター



4 UDCBK的産学公民連携とは？



平成28年度アーバンデザインスクール

- ・将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・話題提供者の講演のあと、ワークショップを実施する。
- ・全回のコーディネーターは肥塚浩氏（大学地域連携強化プラン懇話会座長、草津未来研究所顧問）

	1	2	3	4	5
開催日時	平成28年11月12日（土） 10:00～12:00	平成28年12月10日（土） 10:00～12:00	平成29年1月14日（土） 10:00～12:00	平成29年2月18日（土） 10:00～12:00	平成29年3月11日（土） 10:00～12:00
テーマ	アーバンデザインセンターとは？	松山アーバンデザインセンターの運営	UDCBKのコンセプトができるまで	草津・南草津の特性と湖南エリアの商業集積について	これからのUDCBKについて
会場	市民交流プラザ 中会議室				
話題提供者	信時正人氏 （立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員）	松本啓治氏 （愛媛大学防災情報研究センターアーバンデザイン研究部門教授）	溝内辰夫 （UDCBKシニアディレクター）	大橋康男 （草津市都市計画部まちなか再生課）	及川清昭氏 （UDCBKセンター長、立命館大学理工学部教授）
ワークショップ・テーマ	UDCBKへの期待	学習企画	オープンスペース活用	南草津の未来の商業	セッション
参加者数	22	27	40	29	19

平成28年度未来創造セミナー

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4	5	6	7
開催日時	平成28年 10月25日（火） 10:00～12:00	平成28年 11月16日（水） 18:30～20:00	平成28年 12月16日（金） 18:30～20:00	平成28年 12月17日（土） 18:30～20:00	平成29年 2月7日（火） 18:30～20:00	平成29年 2月17日（金） 10:00～12:00	平成29年 2月25日（土） 13:30～15:00
テーマ	たぶんカフェ① 外国人ママと 日本人ママ	たぶんカフェ② 草津で働く外国 人と日本人	たぶんカフェ③ 留学生と 地域の人々	ワク熱教室 草津の未来はワ クワクドキドキ	新拠点を考える ①	備える防災から イツモの防災へ	新拠点を考える ②
講演者等	工藤里香准教授 常田裕子専任講 師 (京都橘大学看 護学部)	小沢道紀氏 (立命館大学ス ポーツ健康科学 部准教授)	亀田直彦氏 (立命館大学 BKC国際教育セ ンター課長)	安居長敏氏 (滋賀学園中 学・高校校長)	及川清昭 センター長 武田史朗 副センター長	山口洋典氏 (立命館大学共 通教育推進機構 准教授)	及川清昭 センター長 武田史朗 副センター長
参加者数	35	37	40	97	25	27	25
備考	外国にルーツを 持つ人 15名	外国にルーツを 持つ人 9名	外国にルーツを 持つ人 10名				

平成28年度草津市社会実験推進事業

- 包括協定締結大学を対象に社会実験事業を**草津市から委託**
- 今年度は各大学の提案を審査し、採択
- 将来的にはUDCBKでの対話を参考に社会実験のテーマを示し、各大学に提示

社会実験のテーマ	委託大学
避難生活時に適応するための火育教育プログラム開発	滋賀大学
高齢者の健康調査と健康体操の効果検証	京都橘大学
南草津駅前広場における琵琶湖のヨシを使用したアートワークによる賑わい創出	成安造形大学

その他企画

開催日	タイトル	概要	協力団体	参加者数
2016.12.21	立命館大学生と考える少子化問題	- 滋賀県少子化対策プロジェクト事業に採択された立命館大学3団体の成果発表 - その成果発表に対して、大人たちと一緒に妥当性を議論。	REFLE.	50
2017.2.4 2017.2.26	シリーズ「子どもの意見は案外正しい」 中高生しゃべくり007	草津の未来を考える上で現在の中高生の意見を聞くことは重要との認識から、子供たちの意見も案外正しいことを大人たちに実感してもらう機会を設ける。	D.Live	20 10
2017.1.15	Worldたぶんカフェ・ファイナル	UDCBKで行った「たぶんカフェシリーズ」のまとめをKIFA主催で草津市議員の参加のもと、まちづくりセンターで開催。	KIFA	50
2017.1.22	働く世代の健康づくり ワークショップ	健幸都市基本計画タウンミーティングのあと、健幸都市計画のパーソナライズ化のためのワークショップを開催。	健康福祉 政策課	50
2017.3.25	「大学生と考える地域づくり」 ～若者が社会参加するきっかけを～	シチズンシップ教育の一環として学生の地域づくりへの参加を考える。	びわこ七有志・ 衣笠じゅく	約20名

オープンスペース利用（定期利用）

タイトル	概要	主催	開催日	利用者数
やさしい にほんご さろん	- 外国にルーツを持つ人とやさしいにほんごで語り合うサロン - UDCBKとしても外国にルーツを持つ人の居場所として、その知識と経験をまちづくりに活かしたいとの思いから実施	KIFA	毎週火曜 10:00～12:00 第三金曜 18:00～20:00	約10名 (外国5名)
オープンガバナンス 研究会	- 立命館大学委託研究員の研究の一貫として実施 - UDCBKはオープンガバナンス的な取り組みでもあることからフィールドを提供	立命館大学 委託研究員	10月～12月 第二金曜、第 四水曜 18:30～20:00	平均10名程度
マンション防災	- 南草津駅前のマンション住民の自主勉強会 - まちづくりに防災の観点が重要なこととマンション住民の交流の場としてマンション内・マンション間の交流支援	マンション住民 有志	2017.11.16 2017.12.7	30名 34名
Code For Kusatsu	- オープンデータを推進する市内の団体の研究会 - UDCBKとしてもオープンデータの推進は今後の活動に不可欠ゆえ支援	Code For Kusatsu	不定期	約10名

オープンスペース利用（イベント）

No	開催日	テーマ	概要
1	12.21	立命館大学生と考える少子化問題	- 滋賀県少子化対策プロジェクト事業に採択された立命館大学3団体の成果発表 - その成果発表に対して、大人たちと一緒に妥当性を議論。
2	2.3	老上小学校特別支援学級読み聞かせ	特別支援学級の読み聞かせ会場として提供
3	2.9	草津の歴史	南草津の歴史を考える会主催
4	2.17	公務員と市民は未来のまちのデザインにどのように関わりあるのか？	4月から滋賀県職員となる学生との意見交換会

まとめ（運営）

- 今年度は子育て世代、外国にルーツを持つ人、学生のサードプレイス化に重点
 - セミナー等開催に対し、対象者を3つに絞り、テーマを選定し実施
 - セミナー等は対話型とし、多様な考え方があることを理解してもらうこと主目的に実施
- イベント参加者の意見はおおむね好評でリピート率が高い
 - リピーターが口コミで新しい人を紹介してくれるため、人数も増えている
 - 障害を持つ人も違和感なく参加していただける雰囲気が醸成されている。
- 学生との共催イベントを行った後の学生の参加率が高い。
- シニア、企業の参加が女性や学生に比して相対的に少ない。

まとめ（テーマ）

平成28年度
アーバンデザイン
スクール

「アーバンデザインセンターとは？」

5

各回 ワークショップ実施

UDCで何をしたい？
未来の商業空間は？
どんな課題がある？

住みよさランキング2017

祝

5年連続近畿地区 1 位！
2年ぶり西日本地区 1 位！

経済資本

文化資本

社会関係
資本

7

多文
化

防災

芸術

市民からは交通、専門家からは街道文化と琵琶湖の話題

今年度事業のテーマ

健 幸 都 市

交 通

琵琶湖

文 化

各種オープンデータの利活用

今年度の課題

- 8月から新拠点に移り、専用空間となる。
 - 平日の定期開催イベントの検討
 - ビブリオバトル
 - マインドマップ研究会
 - 市民提案によるイベントの実施
- 中高生、シニア、企業人を呼び込む仕掛け
 - **大学との連携強化**
 - シニアをメインにしたイベント（経験を伝える、ビジネスアイデアを託す、起業する）
 - **企業と連携した研究会・勉強会の検討**
- 都市デザインの強化
 - セミナー等については都市デザインを意識したテーマを選定

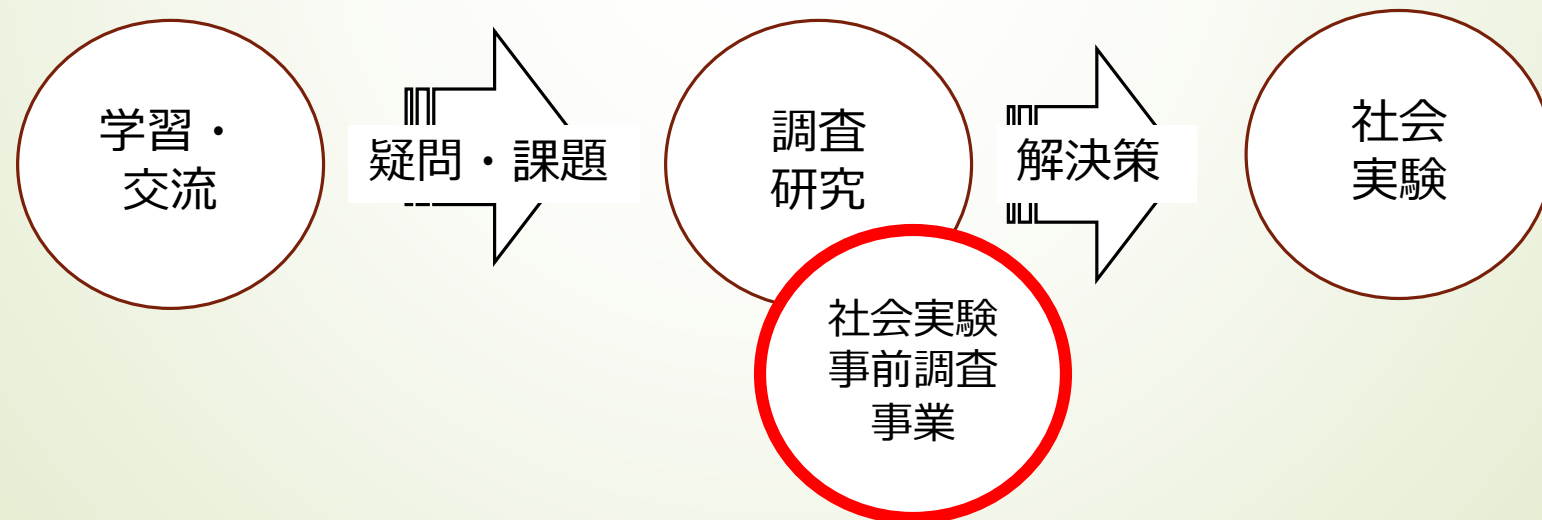
学習・交流

	機 能	内 容	回 数
アーバンデザイン スクール	学 習	UDCBKの運営を担う媒介の専門家・地域の専門家の育成を目的に必要な知識等の取得を行う	5回 (2期) 10回
未来創造セミナー	交 流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	10～16
	学 習	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、調査研究や社会実験等に接続	

合計 20～26回予定

UDCBK社会実験事前調査事業

- 「草津市社会実験推進事業」を改称
- 「学習・交流」「調査研究」を経て、提案された案から社会実験をデザインするために必要な調査事業
- 新たな制度や技術を社会に導入した場合の影響評価や社会実験をデザインするための小規模実験等を行う。



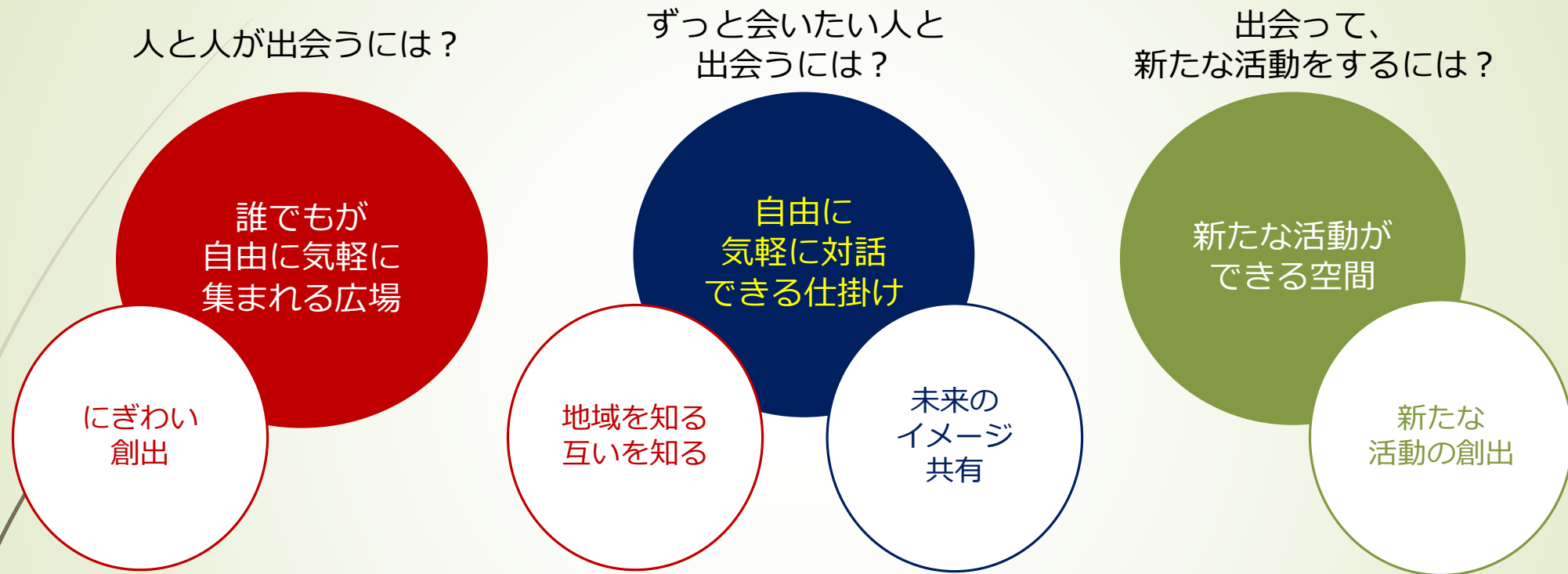
アーバンデザインスクール前期

- シリーズ 草津の未来の交通について考えよう！

～誰もが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるために、それぞれができること～」

- 5回 （6月～10月 水・金の18時半から20時 土10時30分～12時）
- 平成28年度にUDCBKワークショップ等で特に問題意識の高かった交通政策について、今後交通政策の専門家や都市計画関連職員や交通事業者等と自由に気軽に議論するために必要な知識の取得を目的に5回実施する。全5回。コーディネーターは、塩見康博氏（立命館大学理工学部准教授）

「出会いのまち、草津」を考えると



「都市の通りは、部屋になりたがっている」 <ルイス・カーン>

中心市街地の街路空間を人間のための街路に 活動空間への移動手段としての交通
未来のまちづくりを考える上で、交通の知識は不可欠

平成29年度前期は「交通」をテーマに開講

草津の未来の交通について考える

誰もが自由に快適に移動でき、健やかで幸せに暮らせる社会をつくるために、それぞれができること

第1回

未来の交通を考えるために知っておきたいこと

6月28日（水）
18:30～20:00
市民交流プラザ
中会議室

塚口博司氏
立命館大学理工学部
特任教授

第2回

欧州諸都市の経験に学ぶ“誰もが安全に歩いて暮らせるまちづくり”
(人中心のまちづくり)

7月12日（水）
18:30～20:00
市民交流プラザ
中会議室

岡井有佳氏
立命館大学
理工学部准教授

第3回

活動空間

空間内移動
(徒歩・自転車中心)

まちなかの渋滞や交通事故のリスク
を減らすまちづくり
(気まぐれな私的交通を調整する)

8月25日（金）
18:30～20:00
UDCBK新拠点

小川圭一氏
立命館大学
理工学部教授

第4回

空間間（域内）移動
(公共交通中心)

誰もが自由に快適に移動できる
まちづくり
(あらためて公共交通を考える)

9月2日（土）
10:30～12:00
UDCBK新拠点

近藤宏一氏
立命館大学
経営学部教授

活動空間

第5回

ワークショップ
草津の未来の交通を考える

10月14日（土）
10:30～12:15
UDCBK新拠点

塩見康博氏
立命館大学
理工学部准教授

平成29年度アーバンデザインスクール前期

- ・ 将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・ 4回の講演のあと、第5回にワークショップを実施する。
- ・ 全回のコーディネーターは塩見康博氏（立命館大学理工学部准教授）

	1	2	3	4	5
開催日時	6月28日（水） 18:30～20:00	7月12日（水） 18:30～20:00	8月25日（金） 18:30～20:00	9月2日（土） 10:30～12:00	10月14日（土） 10:30～12:15
テーマ	未来の交通を考えるために 知っておきたいこと	欧州諸都市の経験に学ぶ “誰もが安全に歩いて暮 らせるまちづくり” (人中心のまちづくり)	まちなかの渋滞や 交通事故のリスク を減らすまちづくり (気まぐれな私的交通 を調整する)	誰もが自由に快適に移 動できるまちづくり (あらためて公共交通を 考える)	ワークショップ 草津の未来の交通を考える
会場	市民交流プラザ中会議室		UDCBK新拠点		
話題提供者	塚口博司氏 立命館大学理工学部 特任教授	岡井有佳氏 立命館大学 理工学部准教授	小川圭一氏 立命館大学 理工学部教授	近藤宏一氏 立命館大学 経営学部教授	塩見康博氏 立命館大学 理工学部准教授
参加者数	35				

UDCBK社会実験事前調査事業

- 委託テーマ：市（UDCBK）が提示するテーマ（別紙）
- 対象大学：包括協定締結大学
 - 立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学
- 委託料100,000～150,000円程度（消費税抜）
- 採用事業数 6事業程度
 - ※委託料、採用事業数については、選定時に調整
 - ※各大学1委託原則とするが、応募状況等により同大学に複数委託あり
- 募集期間 7月4日（火）～8月3日（木）

市（UDCBK）が提示するテーマ ①

No	テーマ	概要
1	南草津駅前広場等を想定した アートイベントの検討	南草津駅は2020年3月にオープン予定の県立新生美術館への玄関口のひとつである。新生美術館にふさわしいアート溢れる駅前づくりとするためのイベント等の検討
2	空部屋・空き家等の利活用方法 の検討	草津市内のワンルームマンションの空き部屋の利活用するためのコンバージョン、またはリノベーションについての検討
3	妊婦サロン設置可能性、及び 運営手法の検討	UDCBKにおいて妊婦サロンの運営を試行的に実施しつつ、妊婦サロンに必要なソフト・ハード面の検討、及び事業化可能性の検討
4	バス等公共交通の利便性向上策 の検討	外国にルーツを持つ人々や初めて草津市を訪れた人でも気軽にバス等公共交通が利用できるようサインシステムの検討、バスマップ等の作成、バス停のデザイン、あるいはアプリ開発のアイデアを検討
5	南草津駅周辺の賑わい を創出するイベント等の検討	南草津駅周辺の広場や公園、あるいは路上等を利活用した賑わいを創出するイベント等の検討
6	誰もががやさしく歩けるための 準公共空間のデザイン	障害を持つ人や幼い子供と保護者、また高齢者が危険を感じることなく、安心して歩ける準公共空間のデザインの検討

市（UDCBK）が提示するテーマ ②

No	テーマ	概要
7	人々の健康活動を誘発する空間デザインと効果測定手法の検討	人々の健康に良い活動を誘発する空間をデザインするとともに、活動の効果測定するために必要なデータを収集する手法の検討
8	オープンデータを活用した政策立案システムの検討	市の提供するオープンデータや民間のデータ等を利用して市民が任意のデータを選択し、草津市の現状をビジュアル化して把握できるようにするとともに、様々な政策の立案を支援するシステムの検討
9	通勤・通学生と住民が交流するための防災活動の検討	草津市の昼夜間人口比率は1.09であり、昼間人口の方が多い。平日日中に災害が発生した場合、通勤・通学者と子育て世代、高齢者が助けあう必要がある。そのための平時から交流する防災活動の検討
10	外国にルーツを持つ人にもわかりやすいやさしい日本語による医療コミュニケーションの検討	平成28年度に実施したUDCBK事業において、日常会話レベルの日本語を話すことのできる外国にルーツを持つ人から、「シクシク痛む」など医療機関等で症状を聞かれるが、感覚的に理解できないとの意見があった。文化が異なる外国にルーツを持つ人であっても、医師等に症状を伝えることができる医療コミュニケーションの検討
11	市民参加による草津市のジオラマ模型制作手法の検討	市民により草津市のまちづくりを実感していただくために将来的にUDCBK内にジオラマ模型の設置を予定している。そのジオラマ模型の制作範囲や制作方法、及び市民参加による制作ワークショップのデザインなどの検討
12	その他上記テーマを参考にした独自提案	参考にしたテーマの番号を記載のうえ、ご提案ください。

その他平成29年度実施事業

	1	2	3	4
開催日時	4月26日（水） 10:00～12:00	6月9日（金） 19:00～20:00	6月18日（日） 10:00～12:00	7月1日（土） 10:00～12:00
テーマ	ミナクサ★カフェへ ようこそ！ ～すてきな子育て支援拠点施 設の開設に向けて～	新しく生まれかわる UDCBK！	「南草津の未来をデザインする」 ～デザイン・ビジネス、建築・空 間、暮らし・からだ～	チャレンジ！！ オープンガバナンス2017 （COG2017） 地域課題検討ワークショッ プ！ ～まちの健幸づくりのために、 克服すべき課題とは？～
講演者等	UDCBKスタッフ	及川センター長 武田副センター長	草津の未来のまちをデザインする ～アーバンデザインセンターびわ こ・くさつ(UDCBK) について 及川センター長	UDCBKスタッフ
参加者数	41 (大人20、子ども21)	23	51	11
備考	子ども子育て推進課の新拠点 検討ワークショップの企画と ファシリテーターを務める	8月移転予定のUDCBK 新拠点のコンセプトと基 本的なレイアウト等の説 明	草津市商店街連盟との共催、立命 館大学の協力で開催 全体のデザインと当日の運営支援、 及川センター長による講演	昨年度のCOG2016に引き続き、 COG2017参加のための市民契 機による地域課題を検討する ワークショップを開催

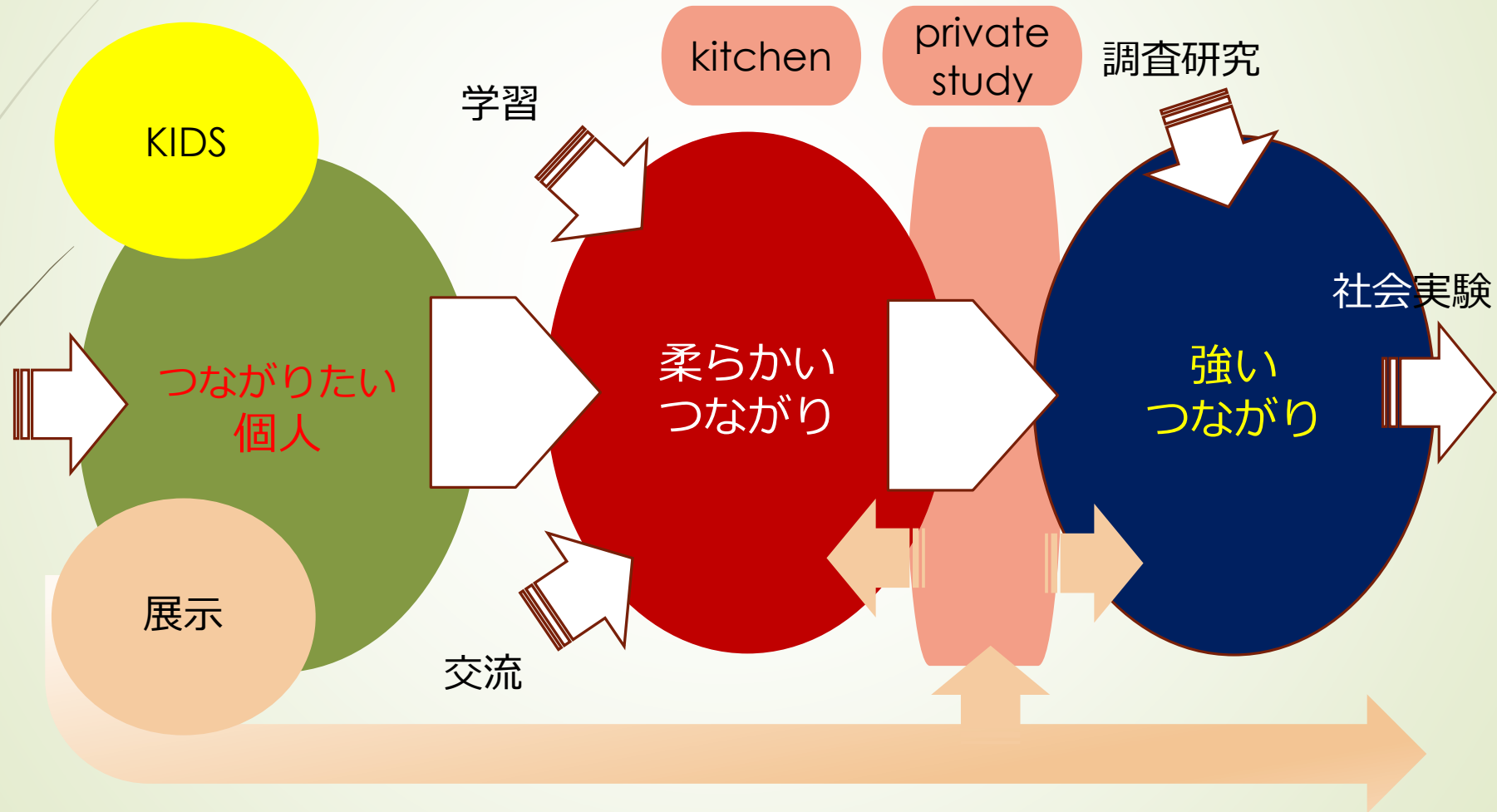
新しく生まれ変わるUDCBK！

平成29年 夏！



SEIYU南草津店1階に移転

誰でもが気軽に自由に利用できる創造的空間を目指して



活動に必要な4つの要件

外から中
が見える

物理的・心
理的バリア
を無くす

思わず入りたくなる仕掛け

ピクチャーレール
白い大きな壁

活動の様子が追体験できる仕掛け

プロジェクター

個人利用から
50人の講演会まで

活動の熟度に応じた自由なレイアウト

20人程度の
ワークショップ
ができる

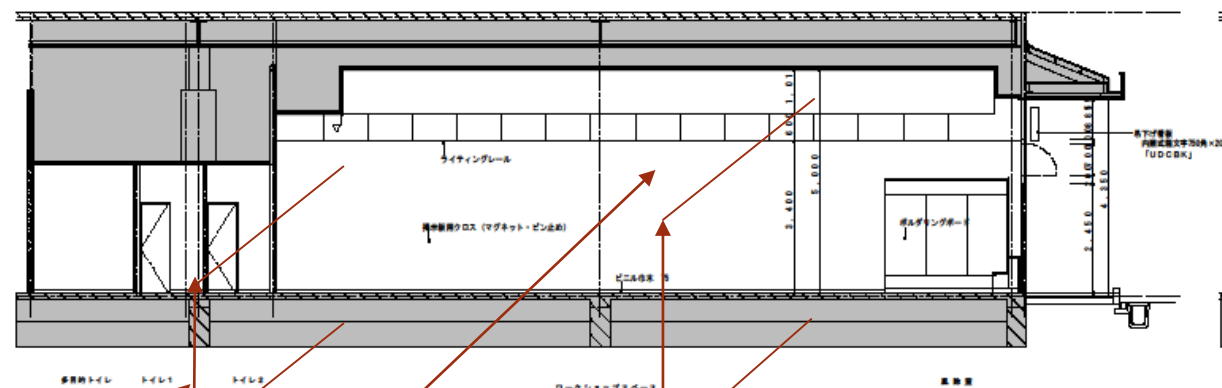
思いついたアイデアを表現できる道具

ホワイトボード

自由に使える
模造紙など

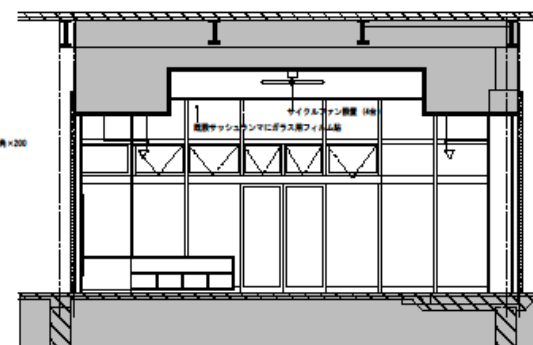
設計図 (立面)

UDCBK

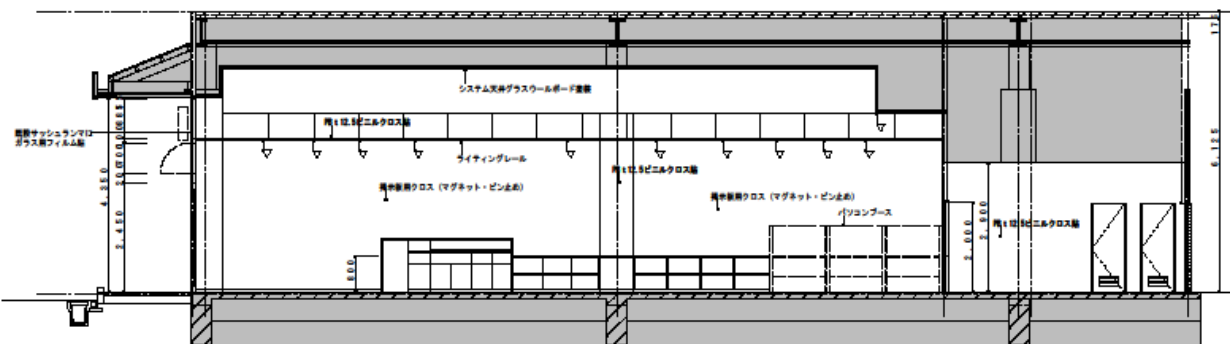


4.0m メッシュレール

5.0m

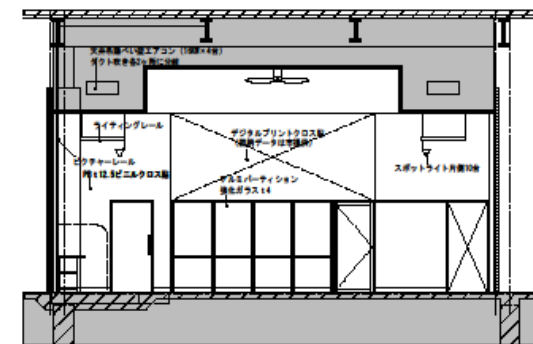


ワークショップスペース



ワークショップスペース

ピエタール



ワークショップスペース

入口から事務室に向かって

- ★天井にシーリングファンを設置して室内全体に冷暖房の風を還流する。
- ★天井の高さを5mとし開放感を演出する。
- ★壁面側の天井下にメッシュレールを吊るしスポットライトを設置する。
- ★メッシュレールには、バナーなどを吊るすことが出来るようにする。
- ★絵画展示等が出来るように両壁面にピクチャーレールを設置する。

- ★入口付近に大きなホワイトボードを設置する。
- ★両壁面の下にコンセントを配置する。
- ★シンクと水道、IHキッチンヒーターとコーヒーマーカーがワンルームの中に

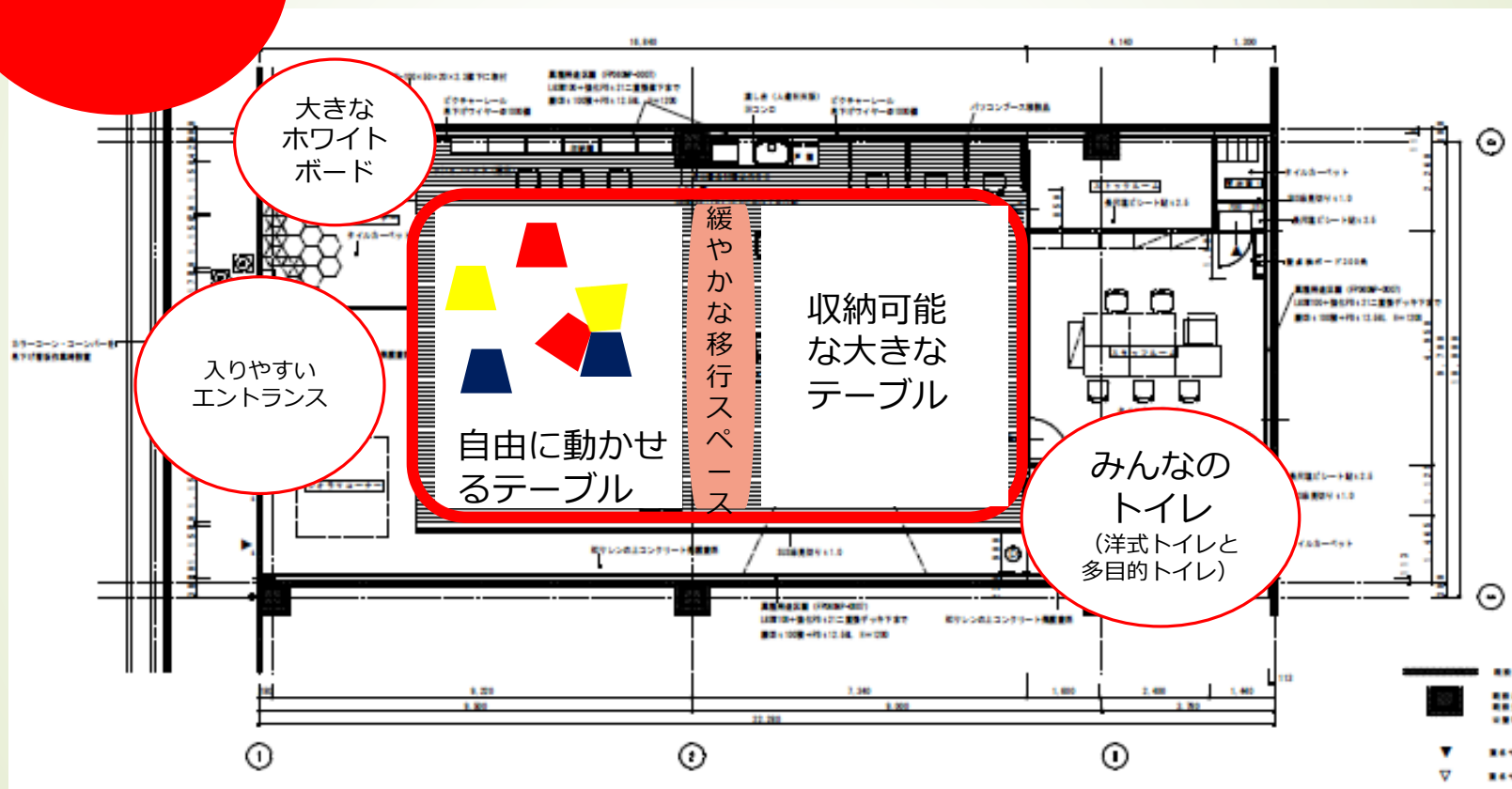


UDCBK新拠点の特長

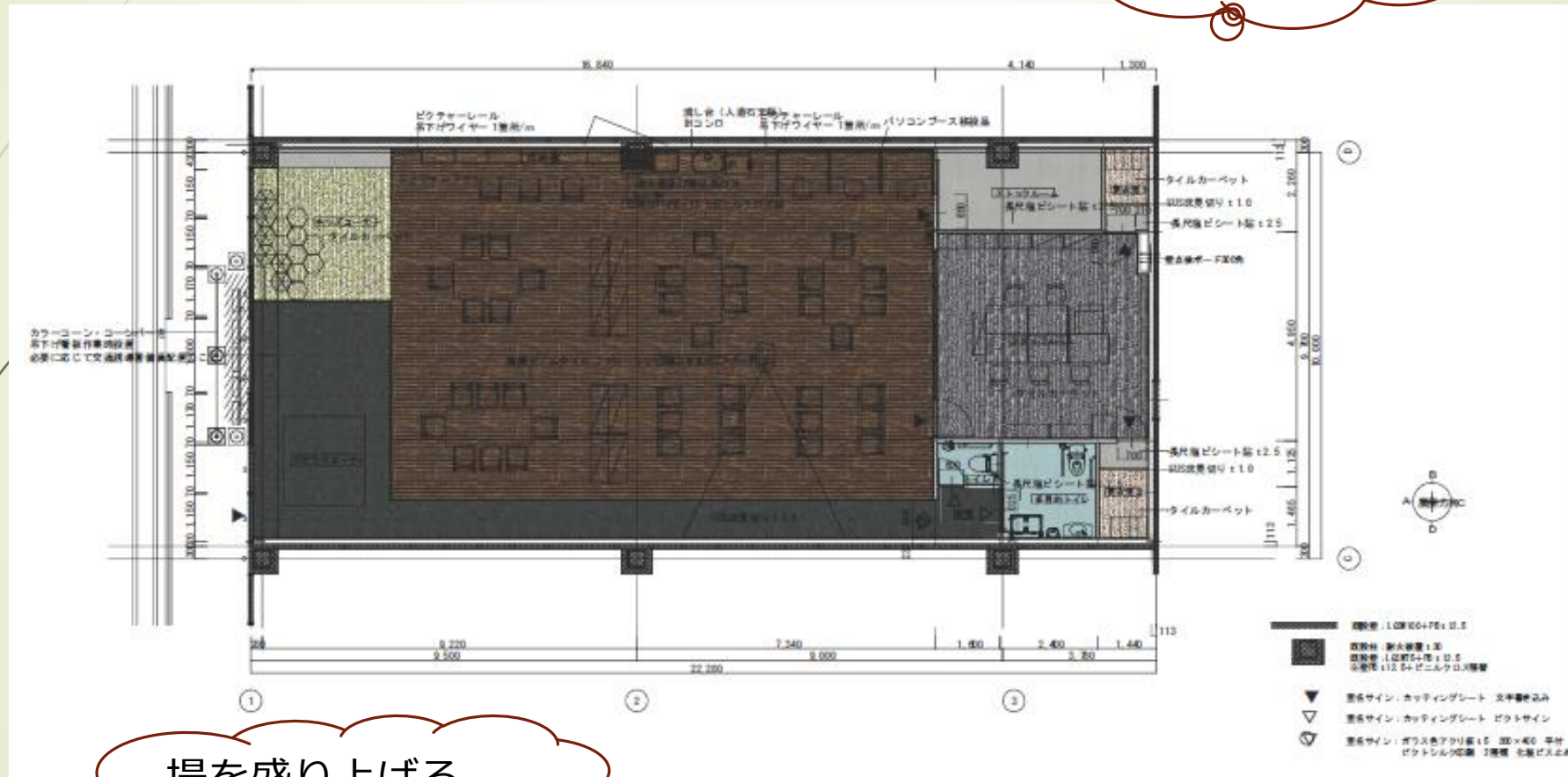
Wi-Fi

大きな
ホワイト
ボード入しやすい
エントランス自由に動かせ
るテーブル

緩やかな移行スペース

収納可能
な大きな
テーブルみんなの
トイレ
(洋式トイレと
多目的トイレ)

魅力ある プログラム



場を盛り上げる コミュニケーター

新拠点移転スケジュール

- 開設日時：平成29年8月1日（火）予定
- 開設場所：西友南草津店一階テナント入居
- 移転による休室：7月28日（金）～7月31日（月）

	5月	6月	7月	8月	9月
移転	旧テナント退去	改修工事 備品調達		業務	
現拠点	業務				

今年度8月以降の事業計画（案）について

- 後期アーバンデザインスクールについて
- 未来創造セミナーのアイデア、教員のご紹介
- 調査研究拠点としての利用
- オープンスペースを活用したイベントのアイデア

平成29年度アーバンデザインスクール後期

- 昨年度のアーバンデザインスクールにおいて、これからのまちづくりは行政参加型プラットフォームの運営理論が必要との認識が高まったことから、「市民参加と合意形成」（仮）をテーマにすることを予定している。
- テーマ：「市民参加と合意形成」（仮） 5回実施予定
 - 市民と専門家の対話の仕組みについて
 - 各回2時間（1時間 話題提供+1時間 ディスカッション）
 - コーディネーター 武田史朗副センター長

アーバンデザインはトランス・サイエンス

- ➡ 科学に問うことはできるが、科学のみでは答えが出せない問題群



アムステルダム



グアナファト

- ➡ 多様性を確保しつつ、その街らしい景観や文化を創るための合意形成のあり方を検討する必要がある。

平成29年度未来創造セミナー

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4
開催日時	8月5日（土） 10:30～12:00	8月予定	9月予定	9月予定
テーマ	市民も変わる、 行政も変わる!! オープンガバナンス	夏休みスペシャル 草津の イメージを書いてみよう！ ～通り道、目印、遊び場、 気になる場所、境目～	みんながイメージする草津 ～道路（パス）、目印（ラ ンドマーク）、境界（エッ ジ）～	未定
講演者等	奥村裕一 東京大学特任教授	武田副センター長監修		小林傳司 大阪大学副学長
参加者数				
備考	オープンガバナンスの説明 と草津市も参加した「チャ レンジ!!オープンガバナン ス（COG)2016」の報告と COG2017の説明	ケビン・リンチの「都市の イメージ」の手法をベース に草津のまちのイメージを 描くワークショップ	参加者が描いたくさつのま ちのイメージを参考にした 草津の魅力などの分析	政策に新たな科学技術や科 学的知見をとり入れる際の 政策形成プロセスへの市民 参加の必要性和欧州の合意 形成手法の紹介

オープンスペース利用

- * 夏より新拠点となるため、専用空間となり、活動の自由度が向上
- * 10回以上実施予定

- 「やさしい にほんご さろん」の拡充
- 市役所各課からのタウンミーティング等の委託
- 空間づくりワークショップ
- 市民団体・学生団体・まちづくり協議会・企業等との協働事業
- つながりカフェなど交流会の開催
- オープンスペースの有効活用

(オープンスペース活用例)

成安造形大学 プロジェクト科目

- 成安造形大学 プロジェクト科目
「草津アーバンデザインプロジェクト」
- 南草津駅は2020年3月にオープンする新生美術館の
玄関口にふさわしいアート溢れるまちづくりを検討
する。
- U D C B K を地域拠点として授業展開予定
(年間15コマのうち、数コマの授業を公開型でUDCBKで実施予定)

今後のUDCBK事業運営懇話会予定

- UDCBK事業についての助言と参画、及び法人化について検討する

No	開催時期 (予定)	検討（報告）内容
1	7月11日	昨年度事業の報告と今年度事業について 新拠点移転について 今年度事業計画（未決定部分）について
2	10月	法人化について 今年度事業中間報告 来年度事業について
3	2月	法人化について 今年度事業報告 来年度事業について